

# あなたの支援が 子どもたちの巣立ちを支えます。

ご不要になった本や未使用の家庭用品、  
使わないポイントなどでもご支援いただけます。

## 継続寄付会員

1日約100円  
1年間の継続支援

## 一般寄付

いつでも自由な金額で

## 遺産などの寄付

相続財産やお香典で

## 古本などの寄付

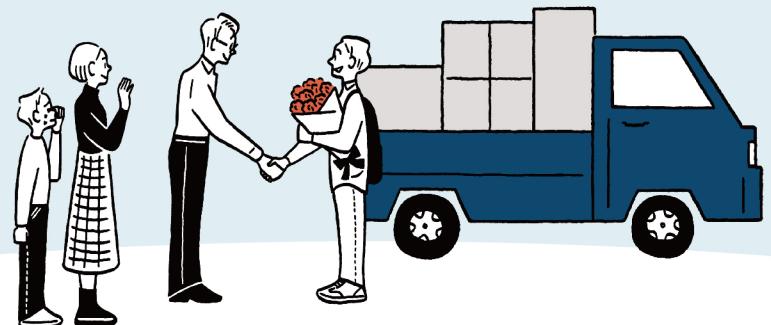
不要になった本、CDなど  
5冊から可【送料無料】

## ポイントの寄付

使わないTポイントやベネボボポイントで

## 生活必需品の寄付

家庭にある新古品や物品購入で



## 一緒に応援しませんか

子どもたちの巣立ちをご寄付により支えてください。  
ブリッジフォースマイルへのご寄付は、税制優遇の対象になります。  
ご寄付のお申し出は、電話、メール、ウェブサイトにて承ります。



親を頼れないすべての  
子どもが  
笑顔で暮らせる社会へ

Tel: 03-6842-6766 (平日10時-18時)

Email: [info@b4s.jp](mailto:info@b4s.jp)

URL: <https://www.b4s.jp>

認定NPO法人 ブリッジフォースマイル

〒107-0062 東京都港区南青山3-1-30

PASONA SQUARE

東京都認定 NPO4 生都管第 1117 号

# Annual Report 2022



認定NPO法人 ブリッジフォースマイル

# TOPICS

## 子どもたちが巣立つ18歳とブリッジフォースマイルも同じ歳に #巣立ち18キャンペーンを行いました

2022年12月にブリッジフォースマイル(B4S)は18周年を迎えました。18周年に際し、#巣立ち18キャンペーンとして、退所者、ボランティア、スタッフのインタビュー連載、B4Sの活動を伝える動画制作、全4回の公開オンラインイベントを実施しました。退所者へのインタビューは、P.5でもご覧いただけます。

動画は児童養護施設出身の映像作家・絵本作家である西坂來人さんに制作いただき、退所者が出演しました。

イベントでは、社会的養護や子どもの現状、NPOで働くこと、18歳成人を取り巻く社会制度をテーマに、代表の林が各回多彩なゲストと共にトークセッションを行いました。全4回の参加者はのべ181人、参加した方から「現場の生の声がきけて良かった」「まずは自分ができることをしたいと思います！一歩踏み出します」など、多くの感想をいただきました。



動画、インタビュー連載はウェブサイトでご覧いただけます。



## 北海道で巣立ちプロジェクト開始 活動は全国に広がっています

2022年「ドコモ市民活動団体助成事業」の助成金申請が採択されたことをきっかけに、北海道で巣立ちプロジェクトを実施。佐賀、熊本の拠点に続き、北海道でも事務局を開設し、活動が始まりました。地域の協力団体、協力者を募り、計4回の巣立ちセミナーを行い、3施設から高校3年生等14人が参加しました。また、セミナーを見学した施設職員の方々からは、「グループワーク経験は貴重な体験だった」「子ども一人ひとりが主役の一日だった」「ボランティアがマンツーマンで付いていて安心した」などのお声をいただき、北海道での初めての試みを迎えていただきました。今後、行政からの事業受託も視野に入れ、継続していきます。



北海道ではまだボランティアが不足しており、東京から自費でセミナーに参加していただいたボランティアのみなさまもいらっしゃいました。



このセミナーは「ドコモ市民活動団体助成事業」からの助成金により実施しました。

## アフターケア担当施設職員向けの オンライン勉強会を実施

全国を対象としたオンライン勉強会を、月1回／全11回開催し、のべ577人の施設職員が参加しました。中でも「施設内の性教育、境界線の意識付け」と題して、一宮学園(千葉県)様から事例を紹介していただいた回は、参加者が100人を超え、関心の高さがうかがえました。事例発表を聞くだけでなく、職員間で意見交換を行い、それを全員で共有するというスタイルは、毎回学びを得られると好評です。

2023年度からは、参加枠をアフターケア担当職員だけでなく、そのほかの職員の方々にも広げ各施設での自立支援に役立てていただくとともに、有益な情報の蓄積を図ります。



勉強会に参加する職員のみなさま。終了後に、意見交換などの内容をまとめた詳細な資料を作成し、参加者に共有しています。この資料を配布することで、参加できなかった職員の方々にも勉強会の内容を伝えられる仕組みをとっています。

## 江戸川区児童相談所 行政受託開始 児相職員への人材育成業務も行いました

2016年5月の児童福祉法改正により、東京都の23区に児童相談所設置が進む中、江戸川区より「社会的養護自立支援事業」と「職員の研修及び人材育成管理業務」を受託しました。

「自立支援事業」では、支援コーディネーターによる継続支援計画の作成、家庭復帰者等への自立支援、居場所づくり、を行い、5人を支援しました。また、江戸川区管轄の児童11人を自立ナビゲーションにつなげました。引き続き、継続支援も行います。

「人材育成管理業務」では、22回のべ372人の児童相談所職員等向けの研修運営と参加管理、職種ごとの必要スキルを可視化したキャリアアラダーに基づく自己評価、上長面談実施の仕組み化を行いました。



江戸川区児童相談所で実施している研修運営のように、B4Sでは、子どもを支援する大人を増やすために、伴走者の育成にも力を入れています。

# 巣立ち支援による実績

2022年度は、コロナの影響が徐々に落ち着いてきて、対面でのセミナーやイベントが増えました。改めてみんなで会う良さを実感する1年でした。その反面、参加のしやすさからオンラインのニーズは高く、それぞれの良さを活かしながら、子どもたちに合ったより良い支援を続けていきます。

各プロジェクトの詳細は、  
ウェブサイトでお読みください。



高校3年生向け一人暮らし準備セミナー

## 巣立ちプロジェクト

参加高校生 272人

東京、佐賀、熊本、北海道で実施



ポイントをためて生活必需品をそろえる

## トドクン

仲介商品 1,089点

商品の種類 463種

仲介金額 485万円相当

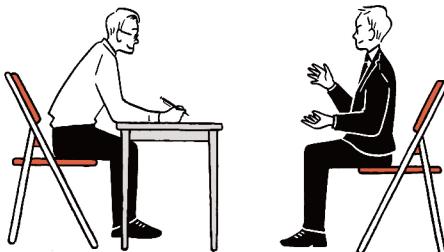


複数の就業体験の後で就職先を決める 就活サポート

## ライテミル

利用者 110人、求人票 46件

その他職業紹介を含む  
東京、佐賀、熊本で実施



社会人と一緒に住むシェアハウス事業

## スマイリングプロジェクト

入居者：退所者 3人

社会人 3人

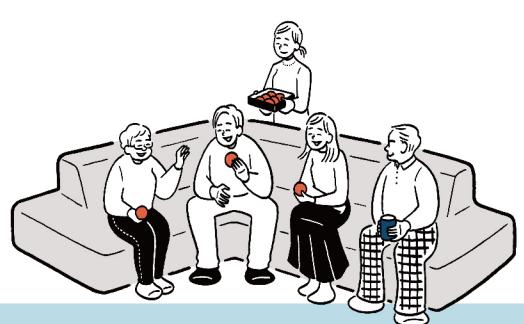


身近な理解者と繋がれる & いつでも立ち寄れる

## 居場所事業

居場所・イベント参加者のべ 1,435人

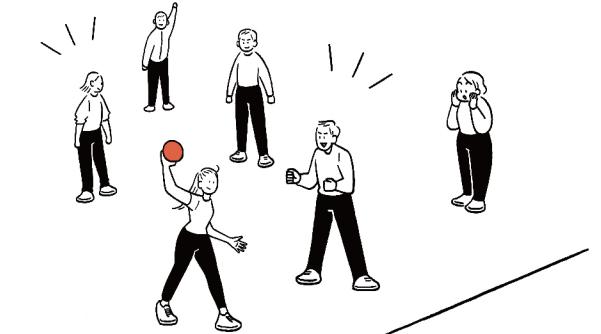
4カ所(よこはまPort For、さが・こんね、かたるベースくまもと、えんがわ)



同じ境遇の仲間と集うイベント

## アトモプロジェクト

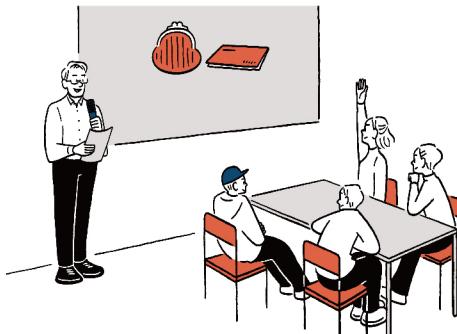
イベント開催回数 18回・参加退所者のべ 119人



社会人から楽しく学び巣立ちの不安を解消する

## 自立支援セミナー

実施回数 153回・参加者のべ 920人

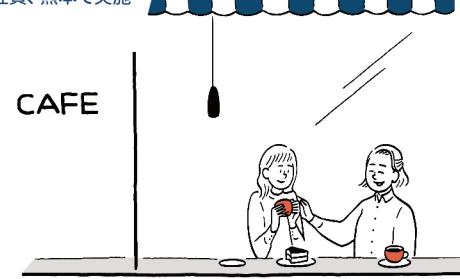


ナナメの関係で気軽に話せる個別サポート

## 自立ナビゲーション

利用退所者 146人

東京、佐賀、熊本で実施



学費の不安解消と卒業まで定期的な面談を行う

## 奨学生支援プログラム

奨学生 53人、協力企業 4社



数日間の就労体験で自分の興味や得意を知る

## インターン

参加者 107人・受入協力企業 38社



## その他

### 個別支援

対応件数 7,284件、実人数 559人

※2023年度より、ライテミルとインターンは、仕事体験  
プログラムとしてジョブプラクティスに統合となります。



「#巣立ち18キャンペーン」でインタビューに応じてくれた「きてい子」。  
ブリッジフォースマイル（B4S）との付き合いは、15年近くになります。  
B4Sとの15年を振り返りながら、きてい子の今を聞きました。



思うようにならなかった18歳のころ。  
でも、今、輝いているのは、  
みんなの支援があったから

(写真は左から、代表 林、きてい子、コエールイルミネーターむんちゃん)

## 出会いは「巣立ちプロジェクト」 「信頼されている」感じ、うれしかった

B4Sとの出会いは、17歳のころ。2009～2010年の「巣立ちプロジェクト」に参加したのが、きっかけでした。施設の先生に「自立に役立つから」と勧められました。「自分で自立していく」のために必要なことを一つ一つ体験でき、楽しかったです。ほかの施設の高校生と接する機会を持つこと自体、まだ珍しいころで、それも新鮮でした。施設では、どうしても、いろんな制限があって、例えば、恋愛の話なんかできません。「恋人のいない人が、かわいそ

うでしょう」みたいに。携帯電話も使う場所が必ず決まっていました。ところが、巣立ちプロジェクトでは「一人の大人」として「信頼されている」感じがとてもうれしかったですね。あのころ、18歳で施設を退所した後、どうすればいいのか、何を準備すればいいのか、全くわかりませんでした。18歳になったら強制的に施設を出なきゃいけないみたいな感じだったから、自立のために、いろんなことを教えてもらえるのは、とてもありがたかったです。

## 「夢を追えなかった」 18歳のころの自分

18歳のころは「早く大人になりたい」というより「早く大人にならなきゃいけない」と、何か、せき立てられる感じでしたね。施設の人からも「もう来年は(施設に)いないんだから」とか、「18歳なんだから、甘えてないで」とか「自分で何でもしないよ」と、よく言われていました。だから「後がないんだ」と、すごく漠然とした不安がいつもあって。私は、もともと(母や兄から虐待を受けた)「虐待サバイバー」で「私に帰る家はない」心境だったので、何が自分に向いているのか全然わからないまま、コンビニエンスストアでアルバイトをしていました。施設にいたころは、夢を持ったり語ったりできる雰囲気ではありませんでした。例えば、モデルをやりたいとか、舞台に立ちたいとか。それよりも、まずは「生活基盤をどうするの?」って。奨学金は、夢のまた夢。当時はまだ「貸付型」が主流で、結局、将来の自分への「借金」になってしまいます。何より、虐

待サバイバーの私には「保証人」欄に、署名をしてくれる親がいません。施設も「保証人にならない」方針でした。なので、大学も専門学校も、進学は諦めざるを得ませんでした。でも、B4Sで、えりほ(代表林のニックネーム)に会って「何か、やりたいことがあたら、やればいいじゃん」と言われて、初めて「夢を持っていいんだ」というふうになりました。もし大学に行けるなら、法律を勉強して弁護士になりたかったし、専門学校なら理学療法士か、作業療法士になりたいなって。B4Sに出会う前ですが、一時「専門学校なら進学できるかも」と真剣に考えた時期がありました。高校2年生の冬休み、学校説明会に参加し、校内を見学し、頭の中でいろいろシミュレーションをしてみたけれど、進学費用などを考えると、今のバイト代じゃ、やっぱり難しくなって気づいて。その時は本当に落ち込みましたよね。

## AOKIさんのスーツ 「うれしさ」かみしめ、今も大切に

18歳の時の一番の思い出は、やっぱり「スーツ」かな。B4Sを通じて「AOKI」さんからいただいたスーツ。東京・新宿西口のお店に試着に行ったら「お待ちしておりました」って。お姫様みたいな気分でした。18歳のみすぼらしい私が、きちんとした対応をしてもらって。今でも覚えているのは「こちらから、こちらまで、好きなものを1着選んでください」と言われ、ブラウスも選んで、これで終わりかな、と思ったら「ブリッジフォースマイル様からは『一式』と言われていますので」と、靴とかばんも選んでもらって。もう、すごくうれしかったよね。そんなことって、今までに経験したことがなかったから。私たちは、使えるお金が決まっていて、スーツみたいに、限られた時にしか着ない服にお金をかけるのって、真っ先に省いちやうことだったから。

今でも、そのスーツは大切に着ていますよ。職業訓練校(職業能力開発センター)の卒業式でも着たし、就職の時も「このスーツで面接に行くと、絶対受かるから大丈夫」って、いつも思っていました。私の「勝負服」です。施設にいると、化粧品やケーキ、映画や野球観戦の招待券など、いろいろいただく機会があります。でも、形に残り、ずっと使い続けられるものって、なかったんです。AOKIさんのスーツは、ずっと「残る形」で、今も使い続

けています。

「形に残る」という意味では、巣立ちプロジェクトを卒業した時にいただいた「寄せ書き」も大切にしています。ボランティアさんや事務局スタッフのみなさんが、写真と寄せ書きで手作りしてくれて。私、施設を卒業する時、担当者の引き継ぎがうまくできていなくて、自分の写真アルバム、持っていないんですよね。だから、この寄せ書きは、18歳のころの大切な思い出。「形として残してくれる」って、本当にうれしいですよね。



## 「新たな夢」 試行錯誤は続く

巣立ちプロジェクトを卒業した後も、いろいろ声を掛けてもらって、お付き合いが続いています。職業訓練校を卒業後に「焼き付け塗装」の仕事をしていた時は、えりほに頼まれて「よこはまPort For」(居場所事業、横浜市)の壁を、ペンキで黄色く塗りに行きました。「Smile!」のインタビューを受けて掲載してもらった時も、うれしかったな。巣立ちプロジェクトのOB・OG会に「卒業生」として参画した時は、インタビューに答えながら体験談を話したり、

子どもたちのグループワークに加わったり。私自身は今「介護福祉士」と「サービス管理責任者」の資格を取って、障害者福祉サービスを行っている施設で、管理者を務めています。もっと根本的なところから、しっかり学び直したいなと思い「精神保健福祉士」の資格も取りたいなと考えています。

18歳のころ、思うように学べなかたけど、その分、31歳になった今、学び直している感じですね。

きてい子が生い立ちについて語った、もうひとつのインタビューが  
ウェブサイトでお読みいただけます。



# ご協力いただいた企業・団体について

2022年度は160の企業・団体のみなさまにバックアップしていただきました。

いつもあたかいご支援をありがとうございます。

160

## 協賛企業・団体

RBCキャピタルマーケット証券会社<資金協賛・助成金>  
株式会社ITXジャパン<物品協賛>  
株式会社AOKI<物品協賛>  
株式会社あおぞら銀行<資金協賛・助成金>  
株式会社アップルツリーファクトリー<資金協賛・助成金>  
有限会社石川商店<物品協賛>  
岩根クリニック<資金協賛・助成金>  
株式会社INPEX<物品協賛>  
SCSK株式会社<資金協賛・助成金>  
SCSKグループ社会貢献活動クラブEarth One<資金協賛・助成金>  
エス・ビー・エス株式会社<資金協賛・助成金>  
オービス・インベストメンツ株式会社<資金協賛・助成金>  
ORANGE WALK2022<資金協賛・助成金>  
公益財団法人金子財団<資金協賛・助成金>  
カルビー株式会社<資金協賛・助成金、物品協賛、プログラム運営協力>  
ガレージバンク株式会社<物品協賛>  
株式会社GiftX<資金協賛・助成金>  
キャリアインキュベーション株式会社<資金協賛・助成金>  
社会福祉法人熊本県共同募金会<資金協賛・助成金>  
熊本商工会議所青年部<物品協賛>  
公益社団法人熊本善意銀行<資金協賛・助成金>  
グンゼ株式会社<物品協賛>  
KDDI株式会社<資金協賛・助成金>  
公益財団法人KDDI財団<資金協賛・助成金>  
有限会社コーフィール<資金協賛・助成金>  
ザ・リツ・カールトン東京<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>  
三洋貿易株式会社<資金協賛・助成金>  
株式会社JSOL<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>  
公益財団法人CBGMこども財団<資金協賛・助成金>  
シチズン時計株式会社<物品協賛、プログラム運営協力>  
シュウエムラコスマティックス株式会社<物品協賛>  
株式会社スタイルテック<資金協賛・助成金>  
住友重機械工業株式会社<資金協賛・助成金>  
セブンフーズ株式会社(旭志農場)<物品協賛>  
株式会社ZOZO<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>

大和証券グループ未来応援ボンド<資金協賛・助成金>  
立花証券株式会社<物品協賛>  
社会福祉法人中央共同募金会<資金協賛・助成金>  
Defined Crowd Japan 株式会社<物品協賛>  
株式会社TOKYO FANTASY<物品協賛>  
東武不動産株式会社<資金協賛・助成金>  
にしたんクリニック<資金協賛・助成金>  
日本オラクル株式会社<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>  
日本ローラル株式会社<物品協賛、プログラム運営協力>  
株式会社ハウスオブローゼ<物品協賛>  
公益財団法人パブリックリソース財団<資金協賛・助成金>  
BIPROGY株式会社<資金協賛・助成金>  
BIPROGYグループ社会貢献クラブ「ユニアート」<資金協賛・助成金>  
ブルデンシャル生命保険株式会社<資金協賛・助成金>  
株式会社Blooming<資金協賛・助成金>  
株式会社ベネフィット・ワン<資金協賛・助成金>  
ヘンケルジャパン株式会社<資金協賛・助成金>  
マネーコンシェルジュ税理士法人<資金協賛・助成金>  
株式会社ミサワ<物品協賛>  
三井住友海上あいおい生命保険株式会社<資金協賛・助成金>  
三菱食品株式会社<物品協賛、プログラム運営協力>  
株式会社三菱UFJ銀行<資金協賛・助成金、物品協賛>  
三菱UFJ信託銀行株式会社<資金協賛・助成金>  
ミニストップ株式会社<物品協賛>  
有限会社宮田徳彦農場<物品協賛>  
株式会社MERCYHOMME<物品協賛、プログラム運営協力>  
メンターキャピタル税理士法人<資金協賛・助成金>  
NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド<資金協賛・助成金>  
モルガン・スタンレー MUFG証券株式会社<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>  
有幸建設株式会社<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>  
株式会社ヨコオ<物品協賛>  
社会福祉法人横浜市西区社会福祉協議会<物品協賛>  
一般財団法人リプレット基金事業財団<資金協賛・助成金>  
外国法共同事業法律事務所 リンクレーターズ<資金協賛・助成金、プログラム運営協力>

## 協力企業・団体

株式会社アーバンファーム八王子<プログラム運営協力>  
株式会社アールキューブ<プログラム運営協力>  
株式会社アニスピホールディングス<プログラム運営協力>  
アライアンス・バーンスタイン株式会社<プログラム運営協力>  
株式会社ARIGATOBANK<ファンデイジング支援>  
イオン九州株式会社<プログラム運営協力>  
犬のしつけHAGU<プログラム運営協力>  
伊万里整形外科病院<プログラム運営協力>  
イラストレーター 植木美江<プログラム運営協力>  
株式会社With Pet Family<プログラム運営協力>  
SAPジャパン株式会社<プログラム運営協力>  
エヌクスフリート株式会社<プログラム運営協力>  
エネラボ株式会社<ファンデイジング支援>  
株式会社エムクリーンサービス<プログラム運営協力>  
特定非営利活動法人おおもり子どもセンター<プログラム運営協力>  
木月キッキン<プログラム運営協力>  
着付け隊<プログラム運営協力>  
木寺石油株式会社<プログラム運営協力>  
九州フレシジョン株式会社<プログラム運営協力>  
株式会社共同<プログラム運営協力>  
goodo株式会社<ファンデイジング支援>  
熊本市総合体育馆・青年会館<プログラム運営協力>  
熊本市男女共同参画センターはもい<プログラム運営協力>  
熊本市動植物園<プログラム運営協力>  
熊本城ミュージアムわくわく座<プログラム運営協力>  
株式会社craft<プログラム運営協力>  
グランデはがくれ<プログラム運営協力>  
国際自動車株式会社<プログラム運営協力>  
株式会社コッコファーム<プログラム運営協力>  
こどもの本屋 てんしん書房<プログラム運営協力>  
認定NPO法人こまちぶらす<プログラム運営協力>  
サイボウズ株式会社<プログラム運営協力、組織運営支援>  
佐賀女子短期大学<プログラム運営協力>  
特定非営利活動法人サービスグラント<プログラム運営協力>  
ザ・プロアクティブカンパニー株式会社<プログラム運営協力>  
株式会社Sun Asterisk<環境設備支援>  
株式会社 東山美建<プログラム運営協力>  
三洋テクノス株式会社<プログラム運営協力>  
下高井戸シネマ<プログラム運営協力>  
認定NPO法人 JUONI(樹恩) NETWORK<プログラム運営協力>  
昭和フード株式会社 本社<プログラム運営協力>  
Slack Japan 株式会社<環境設備支援>  
株式会社スリムビューティハウス<プログラム運営協力>  
成和建設株式会社<プログラム運営協力>  
株式会社セールスフォース・ジャパン<ファンデイジング支援>  
株式会社セレス<ファンデイジング支援>

有限会社 園田電設<プログラム運営協力>  
株式会社武井工務所<プログラム運営協力>  
ディースタード株式会社<プログラム運営協力>  
一般財団法人東京建築士会<プログラム運営協力>  
株式会社東京スター銀行<プログラム運営協力>  
NPO法人ドットジェイピー<組織運営支援>  
有限会社名古屋住創<プログラム運営協力>  
株式会社ナチュラルスタンス<プログラム運営協力>  
株式会社ニシキ<プログラム運営協力>  
日本証券協会<ファンデイジング支援>  
一般財団法人日本女性財団<プログラム運営協力>  
ハイアット セントリック 銀座 東京<プログラム運営協力>  
株式会社パソナ<プログラム運営協力>  
株式会社パソナグループ<環境支援>  
Backen Heim ポルガ<プログラム運営協力>  
株式会社ハナダ<プログラム運営協力>  
株式会社バリューブックス<ファンデイジング支援>  
PwC Japan グループ<プログラム運営協力、組織運営支援、環境設備支援>  
ピクテ・ジャパン株式会社<プログラム運営協力>  
日野・子どもと家族法律事務所<プログラム運営協力>  
BNYメロン<プログラム運営協力>  
株式会社ファンケル<プログラム運営協力>  
株式会社Fate<プログラム運営協力>  
株式会社 富士建<プログラム運営協力>  
株式会社フジテレビジョン<プログラム運営協力、ファンデイジング支援>  
プリモ・ジャパン株式会社<プログラム運営協力>  
株式会社ベネッセビジネスメイト<プログラム運営協力>  
ベルフレッシュ株式会社<プログラム運営協力>  
ホワイトパレス<プログラム運営協力>  
まちびと会社 ピジョナリアル<プログラム運営協力>  
有限会社ミューズプランニング<プログラム運営協力>  
明和電機工業株式会社<プログラム運営協力>  
株式会社メテム<環境設備支援>  
株式会社more<プログラム運営協力>  
ヤフー株式会社(Yahoo!ネット募金)<ファンデイジング支援>  
横浜市消防局 泉消防署<プログラム運営協力>  
横浜シネマリン<プログラム運営協力>  
公益財団法人横浜YWCA<プログラム運営協力>  
株式会社楽堂<プログラム運営協力>  
有限会社 ラブラブグローバル菊池<プログラム運営協力>  
株式会社ラホス<プログラム運営協力>  
ラ・ロシェル<プログラム運営協力>  
竜之介動物病院<プログラム運営協力>  
ロワール商会株式会社<プログラム運営協力>  
ワークスタイルテック株式会社<プログラム運営協力>

# 会計報告

(2023年3月31日現在)

## 活動計算書

(単位：円)

経常収益	
受取会費	949,560
受取寄付金	111,668,122
受取助成金	14,139,505
事業収益	119,420,920
その他収益	2,139
<b>経常収益計</b>	<b>246,180,246</b>
経常費用	
事業費 人件費	114,961,394
その他費用	96,509,643
管理費 人件費	12,817,168
その他費用	4,815,251
<b>経常費用計</b>	<b>229,103,456</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>17,076,790</b>

## 貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	
現金	275,696
普通預金	42,392,092
定期預金	85,047,076
未収金	6,846,901
棚卸し資産	756,756
貯蔵品	182,000
前払費用	991,752
仮払金	2,844,100
<b>流動資産合計</b>	<b>139,336,373</b>
固定資産	
有形固定資産	7,262,922
無形固定資産	2,044,351
その他の資産	16,793,800
<b>固定資産合計</b>	<b>26,101,073</b>
負債の部	
流動負債	
未払い金	9,339,988
前受け金	1,318,333
住民税預り金	366,900
仮受金	3,600
社保預り金	1,161,118
雇用保険預り金	402,570
未払い法人税	300,600
未払い消費税等	3,819,500
預り金	148,700
<b>流動負債合計</b>	<b>16,861,309</b>
固定負債	
長期借入金	350,000
受入保証金	470,000
奨学生引当金	1,050,000
特別奨学生引当金	1,460,000
<b>固定負債合計</b>	<b>3,330,000</b>
正味財産の部	
指定正味財産	28,496,257
一般正味財産	116,749,880
<b>正味財産合計</b>	<b>145,246,137</b>
<b>資産合計</b>	<b>165,437,446</b>
<b>負債及び正味資産合計</b>	<b>165,437,446</b>

## ごあいさつ

来年度から都道府県に退所後の支援が義務付けられます。これから全国での取り組みが加速するものと思われ、団体設立以来、自立支援、退所後支援に取り組んできた私たちとしては、とても嬉しく思っています。

退所後支援に公的資金が投入される中、これまで以上に自己満足に終わらない支援を目指していかなければいけません。トラウマや生きづらさを抱えた子どもたち、退所者たちが、もっと早く不適切な環境から助け出され適切な養育を受けることができていたら。適切な治療や支援を受けることができていたら。これほどまでに苦労を背負うことはなかったのではないかと思うのです。

退所後支援の現場にいるからこそ、現状を定性情報や定量データで示して、行政や社会に提言をする等、子どもたちの環境を少しでも改善していくことができます。成果の見えづらい活動ではありますが、多くの支援者様に支えられ励まされています。引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。



代表 林 恵子

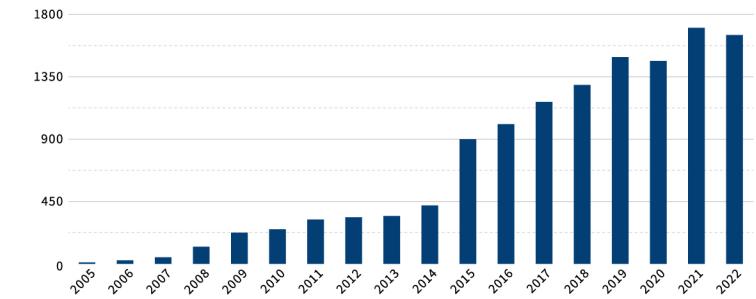
## 活動のあゆみ

ブリッジフォースマイルの活動は、多くの方に支えられています。

### [プログラム利用者数]

2022 年度

1696 人

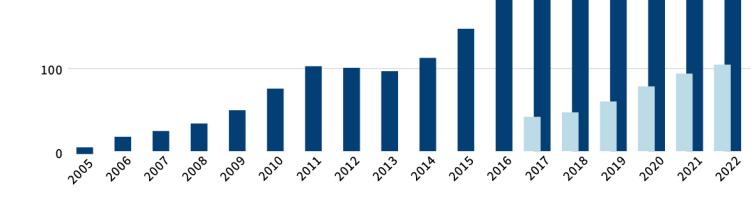


### [プログラム利用施設 / 里親数]

2022 年度

利用施設 234 里親・ファミリーホーム 104

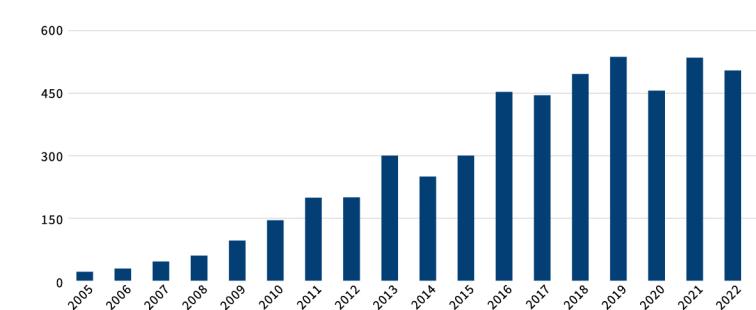
利用施設内訳：児童養護施設 179、自立援助ホーム 35、児童心理治療施設 5、児童自立支援施設 3、母子生活支援施設 4、児童相談所 3、その他支援機関 5



### [ボランティア登録者数]

2022 年度

504 人



[ス キ ル ア ッ プ 研 修] 実施回数 41回 参加者 のべ634人

[施設職員・里親向けセミナー] 実施回数 16回 参加者 のべ 226 人 (東京・横浜・熊本で実施)

[施 設 職 員 勉 強 会] 実施回数 11回 参加者 のべ 577 人

[江 戸 川 区 研 修 運 営] 運営支援回数 22回 参加者 のべ 372 人 (江戸川区行政受託「職員の研修及び人材育成管理業務」)

## 団体概要

名称 特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル (東京都認定 NPO4 生都管第 1117 号)

URL <https://www.b4s.jp>

Email info@b4s.jp

本部 東京都港区南青山 3-1-30 PASONA SQUARE

☎ 03-6842-6766

横浜オフィス 神奈川県横浜市西区高島 2-5-5-203

☎ 045-548-8011

佐賀オフィス 佐賀県佐賀市駅南本町 5-5-506

☎ 0952-26-8166

熊本オフィス 熊本県熊本市中央区辛島町 6-2-901

☎ 096-288-4627

北海道オフィス 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 札幌エルプラザ 2 階 (札幌市市民活動サポートセンター内)

☎ 03-6407-0901

世田谷オフィス 東京都世田谷区北沢 2-10-15-614

役員 (2023年 6月 30 日現在)

理事 林恵子 (理事長)、菅原亜弥 (副理事長)、武田智成、鈴木匠、嶋嶽順史、川尻未来

監事 藤田正男、石本忠次

会員数など (2023年 3月 31 日現在)

事務局スタッフ 54 人 (常勤 28 人) / 正会員数 22 人 / 繼続寄付会員数 個人 487 人